

本体 標準／交換／消耗付属品

フィジオ 5D セット(本体・吸引装置・ワゴン)
 ① ACアダプタ(本体)
 ② 電源コード(本体・ストレート型)
 ③ 3D導子コード(本体・粘着パッド用・赤)
 ④ 3D導子コード(本体・粘着パッド用・グレー)
 ⑤ デルタスティック導子
 ⑥ リモコン
 ⑦ 粘着パッド 50×50mm(銀糸製・4枚入り)
 ⑧ ジェル 260ml



吸引装置 標準／交換／消耗付属品

⑨ 電源コード(吸引装置・L型)
 ⑩ アースコード(吸引装置)
 ⑪ 本体・吸引装置接続コード
 ⑫ 3D吸引導子コード(吸引装置・赤・+極・M)
 ⑬ 3D吸引導子コード(吸引装置・赤・-極・M)
 ⑭ 3D吸引導子コード(吸引装置・黒・+極・M)
 ⑮ 3D吸引導子コード(吸引装置・黒・-極・M)
 ⑯ スポンジ(吸引装置・M・4個入り)
 ⑰ 3D吸引導子コード(吸引装置・赤・+極・L)
 ⑱ 3D吸引導子コード(吸引装置・赤・-極・L)
 ⑲ 3D吸引導子コード(吸引装置・黒・+極・L)
 ⑳ 3D吸引導子コード(吸引装置・黒・-極・L)
 ㉑ スポンジ(吸引装置・L・4個入り)

別売付属品／消耗付属品

㉒ Dsオクトバスカップセット(カップ4個・スポンジ4枚入り)
 ㉓ Dsオクトバスカップ(赤・+極)
 ㉔ Dsオクトバスカップ(赤・-極)
 ㉕ Dsオクトバスカップ(グレー・+極)
 ㉖ Dsオクトバスカップ(グレー・-極)
 ㉗ スポンジ(Dsオクトバスカップ・4枚入り)
 ㉘ デルタスティック導子電極(1個)
 ㉙ フィジオ 5D ワゴン



寸法:W590×H800×D520(mm)
 質量:約25kg(耐荷重:60kg)

販売名:フィジオ 5D 型式:P-5DS

本体 + 吸引装置 + ワゴンセット

一般的の名称:干渉電流型低周波治療器(JMDNコード:36737000)

医療機器認証番号:304AFBZX00031000



製品サイトはこちら

EMC規格
適合品

EMC規格について:Electromagnetic Compatibilityの略で電磁両立性のこと。機器が電磁妨害を与えず、かつ受けたとしても影響を受けないことをクリアした機器が受けられる認証。本製品はIEC60601-1-2:2007に適合しています。

本体仕様

定格電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	110VA
出力電流	最大 70mA rms
出力電圧	最大 100Vp-p
出力周波数	5KHz/10KHz/15KHz

タイマー	最大 60 分
電撃に対する保護の形式と程度	クラス II / BF 形
寸法	W412×H78×D297 (mm)
質量	5kg

吸引装置仕様

定格電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	35VA
寸法	W412×H110×D300 (mm)
質量	7.3kg

取扱店



酒井医療株式会社

東京都新宿区山吹町358-6 〒162-0801

www.sakaimed.co.jp

札幌営業所(北海道)
 盛岡営業所(青森・秋田・岩手)
 仙台営業所(宮城・山形・福島)
 新潟営業所(新潟)
 長野営業所(長野)
 埼玉営業所(埼玉・群馬・栃木)
 千葉営業所(千葉・茨城)
 東京営業所(東京)
 (フィジオ)
 横浜営業所(神奈川・静岡)
 名古屋営業所(愛知・岐阜・三重)
 金沢営業所(石川・富山・福井)
 関西営業所(大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山)
 神戸営業所(兵庫)
 広島営業所(広島・岡山・山口・鳥取・島根)
 高松営業所(香川・徳島・愛媛・高知)
 福岡営業所(福岡・長崎・大分・佐賀・熊本・沖縄)
 鹿児島営業所(鹿児島・宮崎)



3D shift interference wave
Electrical Stimulator

PHYSIO
5D

フィジオ 5D [干渉電流型低周波治療器]

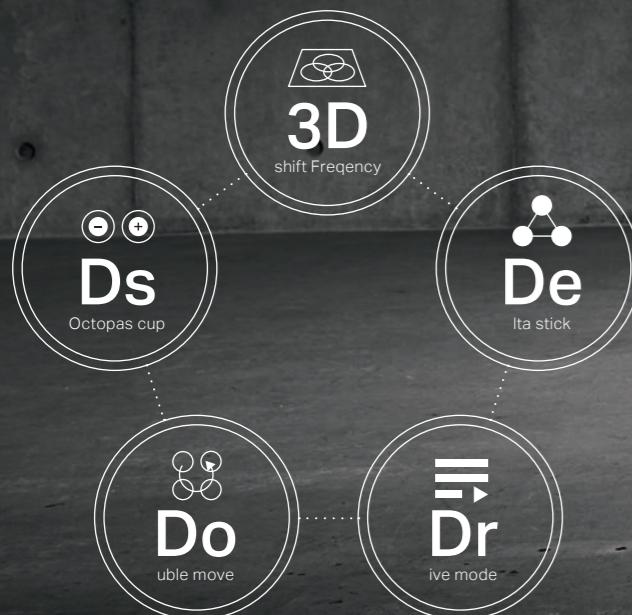
医療機器認証番号:304AFBZX00031000

一般的の名称:干渉電流型低周波治療器(JMDNコード:36737000)

管理医療機器(クラスII) / 特定保守管理医療機器

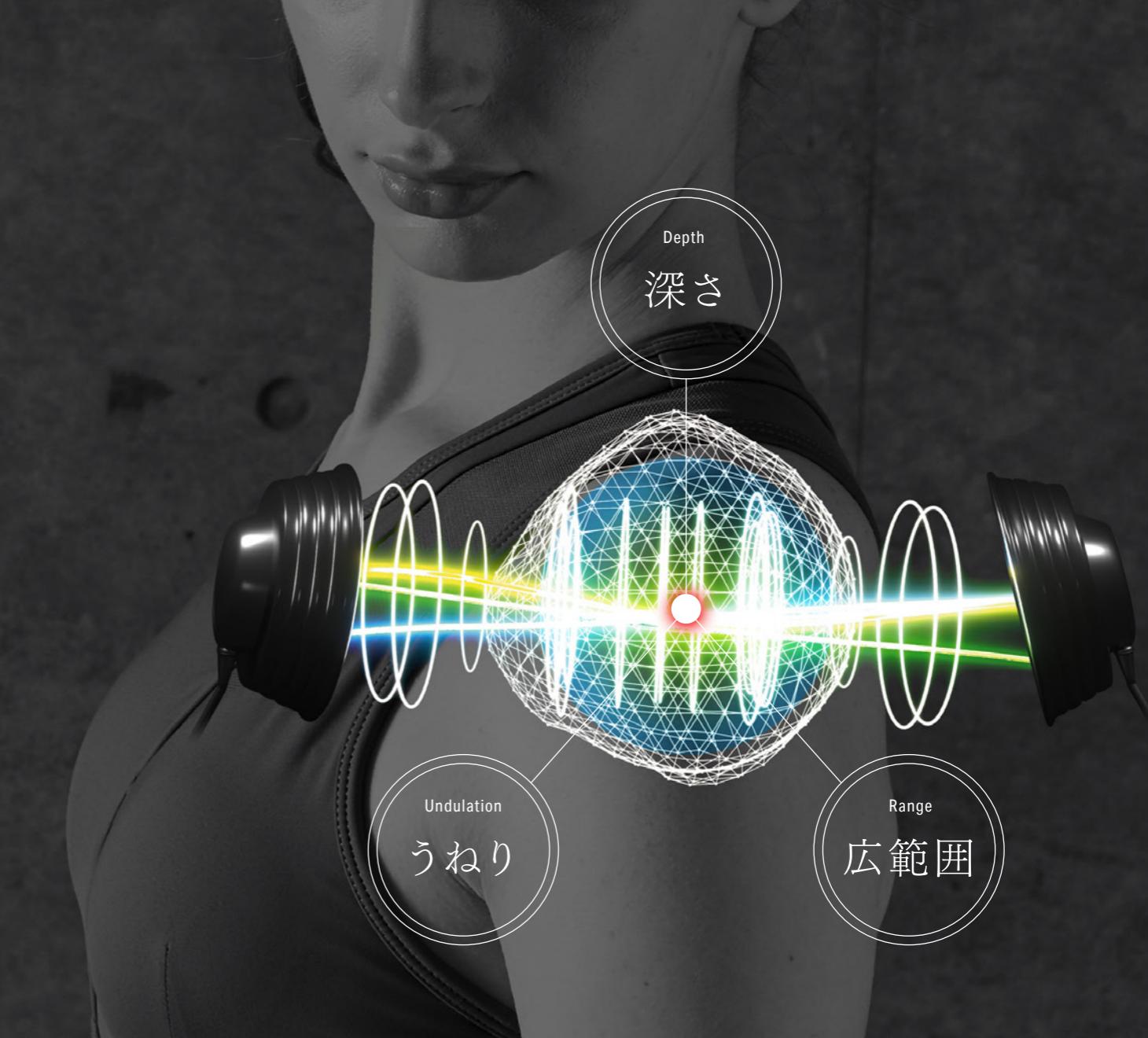
PHYSIO 5D が 到達した新しい刺激

6つの電極から3対の異なる周波数の電流を流し、
3次元的に干渉させることで生み出した、これまでにない
複雑な電流のうねりが身体の深層を広範囲に刺激する。
「フィジオ 5D」が到達した新しい刺激。
干渉波治療の新潮流がここから始まる。



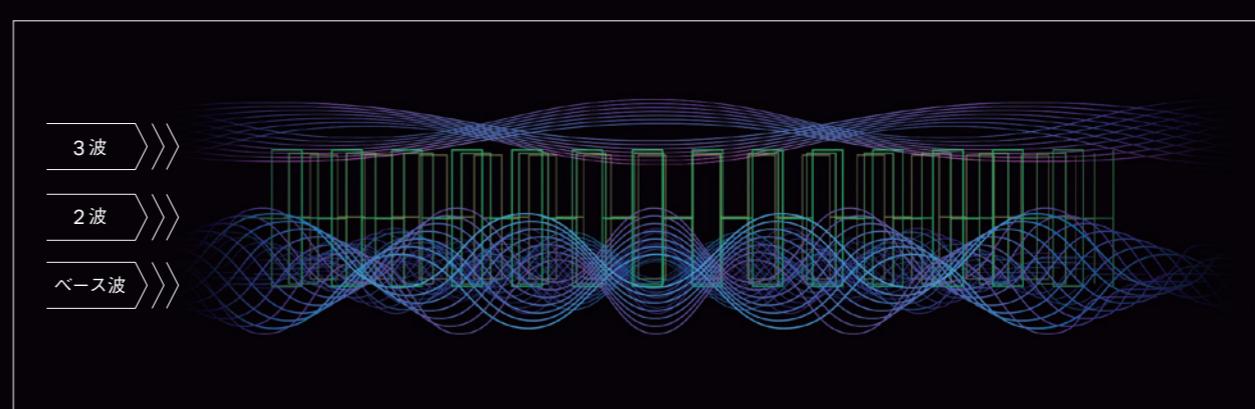
3D シフト干渉波TMが 生み出す深奥の“うねり”

6つの電極を使って3つの干渉波を発生させ、それらが織りなす位相のズレをコントロール。これまでにない心地よい電流のうねりを生み出し、刺激範囲も3次元的に拡がりました。基本治療の搬送周波数は5,000Hzを採用。特に深層部のポイントに痛みなく刺激を届かせやすくなっています。また、周波数をスウェープさせることで、さらに複雑なうねりを生み出せるほか、表層部から深層部まで広範囲に治療を行うことも可能になりました。



3D shift interference wave

3つの干渉波が織りなす位相のズレをコントロール



「フィジオ5D」には、正弦波(レギュラー波／エクストラ波)、矩形波(スクエア波)、鋸波(トライアングル波)の3種の干渉波があります。それらのズレを自在にコントロールする独自技術で、これまでにない3次元的で複雑なうねりを実現しました。

3-DIMENSION

2次元ではない、3次元の力

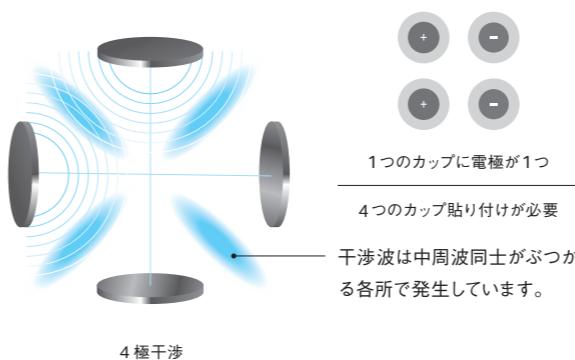
表層だけでなく、深層の筋肉まで広範囲にわたって、
3次元的に治療を行えるのが「フィジオ5D」の特徴です。
さらに、3Dシフト干渉波独特のうねりが治療後も長く強く残存します。
痛みが広範囲にわたる場合や、肘や膝、肩などの
入り組んだ関節に適した治療を可能にします。



これまでの干渉波治療器とPHYSIO 5Dの違い

干渉波治療とは、周波数1,000Hz以上の2つの異なる中周波電流を身体に流して交差させ、その周波数の差から生まれる干渉低周波刺激を利用して痛みの緩和などを行う治療法です。従来の干渉波治療器は、単一電極の導子を用いて4極で電流を干渉させるタイプが一般的でしたが「フィジオ5D」は、6つの電極を使って干渉波を発生させます。

従来の干渉波治療器

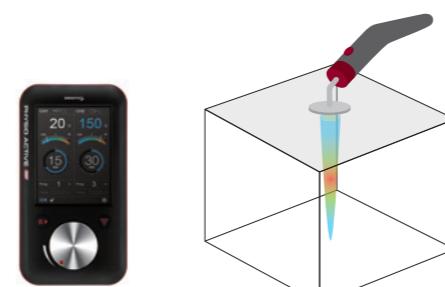


PHYSIO 5D



より多くの干渉ポイントが複雑で3次元的なうねりを実現

+ 症状に合わせて使い分ける



フィジオアクティブHV



PHYSIO 5D

怪我の痛みを素早く軽減させたり、筋肉の炎症を落ち着かせたいときには「フィジオアクティブHV」、痛みが広範囲にわたる場合や、肘や膝、肩など関節には「フィジオ5D」などのように、部位や、症状に合わせて治療方法を選択することで、より効率よく治療を行うことが可能になります。

線+3次元で捉えて様々な治療が対応可能に

GOOD USABILITY

使いやすさとデザインを追求

治療をスムーズに行っていただくための充実した標準装備も「フィジオ 5D」の特徴です。関節にもしっかりと装着できる吸引装置、様々な治療部位に合わせたMサイズとLサイズの吸引カップをはじめ、専用ワゴン、リモコンなど、セラピストの使いやすさを第一に考えた、豊富なアクセサリーを搭載しています。



独自のスリット構造をした極薄ステンレスと、柔らかくてグニャグニャ曲がるシリコーン製カップで、どんな部位にも簡単に装着いただけます。



リモコンで出力調整が可能

治療効果を引き出すには、症状に合わせた適切な出力調整が必要です。
手元で簡単に出力調整が可能リモコンを搭載しています。

※リモコンは2つ付属しています。



動画でCheck!



優れた機能性とデザイン性を兼ね備えた オリジナルの専用ワゴン

必要なアイテムやリモコンなどをすっきり収納できる専用ワゴンを標準装備。
本体手前の掴みやすいハンドルと静音性が高い4輪キャスターにより機器の移動もスムースに行えます。



ハンドルが付いて移動もラクラク



カップが置きやすい上段トレー



リモコンはマグネットで装着可能



ジェルやタオルなどのアイテムもすっきり収納



ベッド間にも収まるスリムな設計





DELTA STICK

ピンポイントアプローチ

広範囲な治療を目的とした吸引カップに加え、
的確なピンポイントアプローチを可能にするデルタスティックを標準装備しています。



POINT
通電面積の拡大・集中



ピン電極の角度を調整可能
最大の角度範囲と最小の角度範囲を使い分けることで症状に合わせた通電面積を作り出せます。



手元のスイッチで
出力調整が可能
本体から離れた場所での治療中にディスプレイをタッチせずに治療に集中できます。

POINT
指などの細かい部位に



吸引カップを使わない
使用方法も
デルタスティックは単体で、対極に吸引カップを装着しなくても使用が可能です。指などの細かい部位の治療時におすすめです。



USEFUL FUNCTIONS

治療をサポートする充実の機能

Care×5／EMS×4の計9種の「プリセットプログラム」、オリジナル組み合わせ治療をワンタッチで呼び出せる「ドライブモード」など、治療をサポートする充実した機能を搭載。他にも「スティムエリア」「ダブルムーブ」「同時・交互モード」などが、治療器の使い方の幅を広げます。



Preset Program

プリセットプログラム

Care [治療] 1 ~ 5

治療に特化した5種類のプリセットプログラムを搭載。身体の症状や、症状がでている部位に合った標準的な施術をスピーディに行なうことが可能です。

筋肉 関節 神経

プリセットプログラム

EMS 1 ~ 4

筋肉に電気刺激を与えて収縮運動を行うEMS (Electrical Muscle Stimulation) に特化した4種類のプリセットプログラムを搭載。筋刺激を継続的に行なう際などにご利用いただけます。

※Freeプログラムとして、ユーザーが任意に設定したプログラムを5つまで保存することも可能です。



大型タッチパネルを搭載

タッチパネルには10インチの大画面を採用。直感的な操作でストレスなく治療に集中できます。



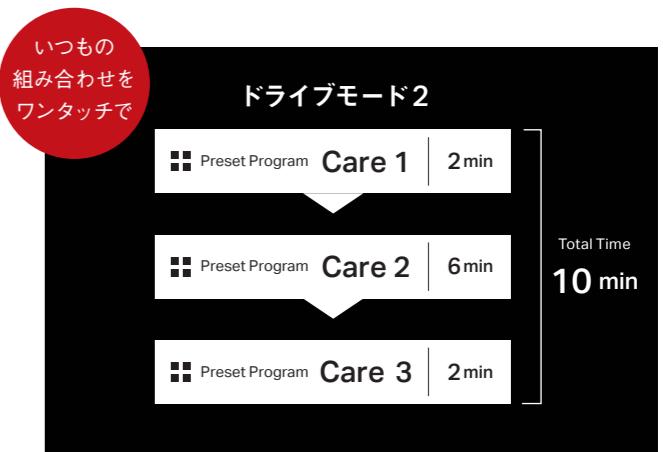
分かりやすいガイド機能

プログラムの内容と目的がひと目で確認できる分かりやすいガイド機能です。

いつもの治療メニューがすぐに呼び出せる ドライブモード機能

いくつかのプリセットプログラムを組み合わせて、オリジナルメニューを作成できる機能です。よく使用する治療メニューをセットしておくと、設定時間の短縮にも繋がります。

※工場出荷時にはおすすめのプリセットドライブが搭載されています。



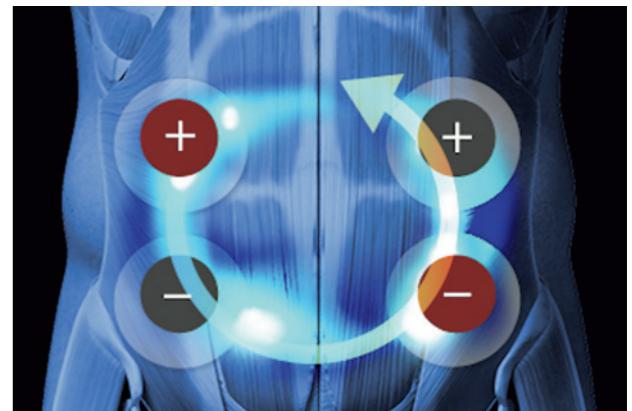
治療ポイントを移動させる スティムエリア機能

画面をタッチして治療ポイント(表層／深部)を移動させることで、症状に合わせた治療が可能になります。



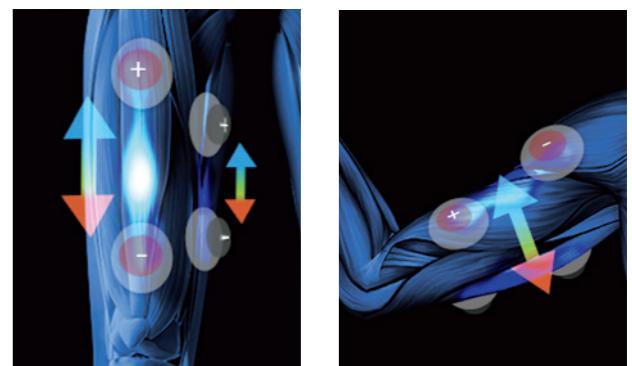
腹部へのEMSトレーニングに最適 ダブルムーブ機能

3Dシフト干渉波が4つの吸引カップ間を移動するように動くことで、より複雑な筋収縮を生み出してくれる腹部へのEMSトレーニングに適した機能です。「体感慣れ」を防ぐことも期待できます。



刺激パターンをコントロールできる 同時・交互モード機能

下肢の左右や体幹の筋力トレーニングをする際に出力のタイミングを合わせられる「同時」モードと、前腕部のリハビリテーションなどに適した「交互」モードを搭載しています。



Ds OCTOPAS CUP 別売付属品

「自己吸着」する新発想の吸着カップ

オクトパスカップは、吸盤の原理で皮膚に自己吸着する新発想の吸着カップです。吸引装置を使わずに治療できるのが特徴。

吸引痕が残りにくいので女性の治療にもおすすめです。



通常のカップより吸引痕が残りにくい

吸引痕が気になる方に喜ばれる、新発想の自己吸着カップです。

ご注意 Ds オクトパスカップは電源を使った吸引を行わないので、肘、膝といった凹凸のある局所には原則吸着できません。

3Dシフト干渉波の原理とは 残存感を残すために必要な<複雑なうねり感>

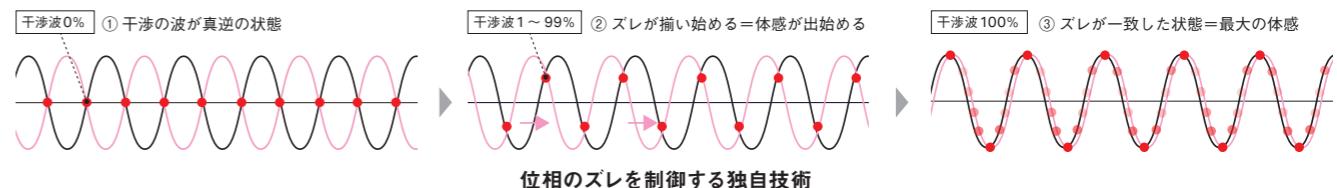
低周波治療器ではできなかった、矛盾する電流治療

低周波(1,000Hz以下)では皮膚表面の抵抗が大きいため、ピリピリと痛く、体の深部まで電流を届けることはできませんでした。かといって周波数を上げて、中周波(1,000Hz以上)になってしまっては、周波数が高すぎて神経筋を効率よく反応させることはできず、治療になりません。

そこで生まれたのが、2つの周波数の異なる電流=中周波(搬送周波数:5,000Hz×5,100Hzなど)を体に流すこと、それらが体の深部でぶつかり合い、体内深くで低周波の刺激(治療周波数:100Hz)を発生させるという原理の「干渉波」です。これによって皮膚表面のピリピリ感を極力抑え、体内深部には治療に必要な刺激感をもたらすことが可能になりました。

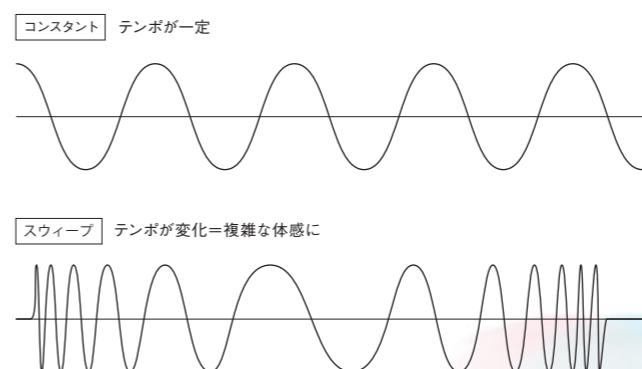
現在、その干渉波治療器の中で、治療に特に必要とされるのは、電流に慣れさせずに十分な電流刺激を継続させるための<複雑なうねり感>です。1カップに1つの電極を使った従来の干渉波と異なり、フィジオ5Dは1カップに3つの電極を搭載し、複雑なうねりを体内にもたらし、刺激感を残す=残存感の高い干渉波治療を実現。さらに独自の「3Dシフト干渉波」で3D干渉波のパターンを自在にコントロールすることにより、より複雑で、治療や筋刺激に必要となる<深層到達、心地良い体感、残存感、慣れの防止>を実現しています。

複雑なうねり感 ① — 3Dシフト干渉波 —



この位相のズレを制御することを可能にした独自技術により、波のような形状(レギュラー)だけでなく、矩形状の波形(スクエア)、鋸状の波形(トライアングル)、正弦波の体感をより高めるように設計された波形(エクストラ)といった刺激感を残す=残存感の高い、慣れさせない3D干渉波機能を搭載しています。

複雑なうねり感 ② — テンポが変化するスウェーブ —



フィジオ5Dには周波数のテンポが一定のコンスタントというモードに加えて、スウェーブというテンポが変化するモードも搭載しているため、3Dシフト干渉波による位相のズレによるうねりに加えて、スウェーブによるテンポの変化が加わり、より複雑なうねる体感を実現しています。



複雑なうねり感 ①

3Dシフト干渉波のうねり

複雑なうねり感 ②

スウェーブによるテンポの変化

=

複雑なうねりが体内に入り長時間刺激感が残る
治療後の残存感